

定期報告（ウルグアイ内政・外交：2017年3月）

【内政】

1 バスケス大統領の施政方針演説

3月1日、第2次バスケス政権発足2周年に際し、バスケス大統領はテレビ・ラジオを通じて国民に向けて施政方針演説を行ったところ、主要なポイントは以下の通り。

なお、昨年末、与党拡大戦線（F A）議員1名が離党し与党は下院で過半数割れしたことから、本年の補正予算編成及び国会運営における波乱が予想されている。

- (1) 大統領は補正予算案審議における野党の協調を促し、重要課題と位置づける教育予算の対GDP比6%確保及び退役軍人年金制度改革実現に向けた決意を表明した。
- (2) メルコスールに対するウルグアイのコミットメントを強調し、対EU・FTA交渉をはじめ中国及びその他諸国との対外関係強化に努めると述べた。

2 女性の権利・ジェンダー平等を求める大規模デモ行進

8日、モンテビデオで国際女性デーを記念し、女性が直面する社会的格差や家庭内暴力等への反対を掲げる平和的デモ行進が行われた。近年まれに見る大規模行進に発展した背景には、市民の意識の高まりとともに社会的影響力を持つウルグアイ労組（P I T - C N T）がデモへの支持を表明し、加盟労働者に対しデモに参加するために同日午後4時からのストを許可したことがある。なお、労組が存在しない国防省では約5千人の女性職員に対して休日を与えられた。

3 2016年民主主義指数ランキング

英エコノミスト誌は2016年民主主義指数を発表し、167ヶ国・地域中ウルグアイを含む19ヶ国のみを「完全な民主主義（F u l l d e m o c r a c y）」と分類した。ウルグアイはラテンアメリカで最も民主主義が確立した国と評価され、総合ランキングでは世界19位となった。なお、日本は「欠陥のある民主主義（F l a w e d d e m o c r a c y）」に分類され、ランキング20位となった。

民主主義指数上位国はノルウェー、アイスランド、スウェーデン、ニュージーランド、デ

ンマークの順となり、ワーストは下から北朝鮮、シリア、チャド、中央アフリカ共和国であった。

【外交】

1 北朝鮮外交官へのビザ発給拒否

3月中旬、在ペルー北朝鮮大使が、F Aのミランダ総裁表敬の目的で在ペルーウルグアイ大使館にビザ申請を行ったところ、ウルグアイ外務省はビザ発給を拒否した。

- (1) 発給拒否の理由として、現在ウルグアイは国連安保理非常任理事国を務めており、5月には議長国就任を控えているため同大使訪問は時宜を得ていないと判断されたことが挙げられる。これまでウルグアイは安保理において北朝鮮の核実験を非難し、複数の関連決議に賛成票を投じてきた。
- (2) 同大使に招待状を出したF Aは外務省の対応に反発し、不満はビザ発給拒否を命じたニン・ノボア外相に向けられF A内部の亀裂を深めた。最終的にバスケス大統領は、外相に対しビザ発給を拒否する必要はないとの姿勢を明らかにし、政府はウルグアイが安保理議長国終了後に在ペルー北朝鮮大使へビザを発給する意向を告げた。

2 対アルゼンチン関係

3月21日、ニン・ノボア外相及びマルコーラ・アルゼンチン外相は各々の運輸公共事業大臣、観光大臣とともにアルゼンチン領マルティン・ガルシア島を訪問した。

- (1) 両国はマルティン・ガルシア運河浚渫工事再開について合意した他、モンテビデオ港へのアクセス運河拡大、マルティン・ガルシア島及び隣接するウルグアイ領ティモテオ・ドミンゲス島観光推進、両島間境界などに関する案件についても確認した。
- (2) 今回の訪問はウルグアイ・アルゼンチン二国間ラプラタ川管理委員会発足40周年を記念して行われ、二国間関係強化の実質的な前進を示すと評価された。
- (3) なお、数年前からウルグアイは大型船の通過・寄港を可能にするためマルティン・ガルシア運河の浚渫工事を行っていたが、アルゼンチン前政権の反対により中断を余儀なくされていた経緯がある。

3 ウルグアイ政府のベネズエラ情勢への対応

ウルグアイ外務省は3月24日、OAS加盟14ヶ国との共同コミュニケに署名し、ベネズエラにおける政治囚釈放を訴えた。加えて同月31日には、ベネズエラ最高裁による議会の権限剥奪を受け、ウルグアイ外務省は南米諸国連合（UNASUR）加盟6ヶ国との共同コミュニケに署名し、三権分立、法の支配、人権、民主主義の保障を訴えた。

【要人往来】

○往訪

- 21日、ニン・ノボア外相訪亜
- 24日、マイア下院議長キューバ訪問
- 29日、ニン・ノボア外相訪亜

○来訪

- 13日、ケリー前米国務長官（私的訪問）
- 17日、ラボルデ国連テロ対策委員会執行事務局長（CTED）
- 19日、ボンバ独交通副大臣

（了）